· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·									江田島市立鹿川小学校	
中期経営				実績値	目標値および実績値			評価		
目標	短期経営目標	具体的な取組・方策	評価指標						改善策	
日保				令和5年度	令和6年度		令和8年度	(自己評価の結果)		
	①基礎基本の定着の	①「本時で身に付けるべき知識・技能」を児童と確実に共	・単元テスト(国語・算	国語	国語	国語	国語	•		
	徹底	有することで、単元や学習のゴールへ向けて主体的に学			81%以上		81%以上			
	III./ES		1							
		習できるよう授業改善を行う。	均到達度	算数	算数	算数	算数			
		①MIM (多層指導モデル) やドリルタイムの取組を通して、		81.5%	81%以上	81%以上	81%以上			
		「聞く・話す・読む・書く・計算する・推論する」等の								
			1	FTH	日本	FTH	国語			
		力を高めるための個別指導の充実を図る。	・標準学力調査におけ		国語	国語				
			る基礎問題の正答率	73.8%	73%以上	73%以上	73%以上			
l 🗎				算数	算数	算数	算数			
児童					74%以上	74%以上	74%以上			
里				14.070	14/05/1	14/08/1	14/05/1			
の学力										
学	②思考、判断、表現力	②長文読解や文章問題を正しく読み取るための方法(注目	・単元テスト(国語・算	国語	国語	国語	国語			
力	の向上	するべき文言に印を付ける等)を児童に紹介しながら継	数)【思考・判断・表現	81.4%	81%以上	81%以上	81%以上			
の		続的に指導する。	力】の平均到達度	算数	算数	算数	算数			
向			77】の十勾到正及							
l Ë		②教科横断的なカリキュラム設計を行い、身に付けた知		76.7%	76%以上	76%以上	76%以上			
太		識・技能を活用できる場を設定する。								
向上を図る。			・標準学力調査におけ	国語	国語	国語	国語			
			る活用問題の正答率		56%以上	56%以上	56%以上			
			る佰用问趣の正合学		1					
Ü				算数	算数	算数	算数			
				51.7%	51%以上	51%以上	51%以上			
					,,,,,,	, , , ,	"			
			旧立ついた。しての	IB # 000/	旧本	旧本	旧本			
	③学びに向かう力の	③学び方や考え方の選択肢を提示し、児童が問題を解く際		児軍 80%	児童	児童	児童			
	育成	に「自己決定」しながら主体的に学ぶことができるよう	肯定的評価の割合		80%以上	80%以上	80%以上			
	13.7%	にする。	教師アンケートの							
			1							
		③1単位時間または単元の学習の中で、自らの学びを自覚	記述分析							
		したり見通しをもったりすることができるよう、「振り								
		返り」の内容を充実させる。								
児童の豊かなる	担然立款を占しる		労林マン/ケー1	時間を守る	時間を守る	時間を守る	時間を守る			
	・規範意識を向上さ		1	I		1				
	せ、毎日を気持ちよ	いう自信をつけるために、日常的に肯定的評価をしていく。	児童アンケートでの	93%	90%以上	90%以上	90%以上			
育里	く過ごす児童を育成		肯定的評価の割合	挨拶	挨拶	挨拶	挨拶			
最 公			日だけ肝臓の引む	94%	90%以上	90%以上	90%以上			
学豊	する。			掃除	掃除	掃除	掃除			
タ゚カン						1				
るな				93%	90%以上	90%以上	90%以上	•		
10.7										
心を		・委員会活動を児童主体の取組にする。		効力感	効力感	効力感	効力感			
2		・学校・地域貢献活動を行う場を設定する。			1	1	1			
		・子仪・地域貝脈伯勁を行り物を以足する。		86%	85%以上	85%以上	85%以上			
児童の	①上休起~1及び	①サーキット運動や体支持運動を積極的に取り入れ、体幹	・ 新休力テフト・久学	上体起こし	上体起こし	上体起こし	上体起こし			
					1					
	50m 走の種目を通し	を鍛える。	期の再計測の県平均を	25%	50%	70%	%			
	て、体力向上を図る。	①児童が主体的に外遊びを楽しむことができ、「走る」機	上回ろ割合	50m 走	50m 走	50m 走	50m 走			
体			TH 2011	75%	65%	70%	%			
'j i		会を増やすことができるよう委員会活動を充実させる。		運動好き	運動好き	運動好き	運動好き			
の体力向上を図る				I	1	1				
'[]				91%	90%以上	90%以上	%以上			
<u>↓</u> .							1			
を	②健康体力を高める	②生活時間を意識させ、健康の保持増進のために生活調べ	・生活カード	早寝 73%	早寝 75%	早寝 75%	早寝 75%			
	ための生活習慣の定	を行う。(早寝、早起き、朝ごはん)			早起き	早起き	早起き			
る		(1) /。(千仗、千起さ、朔こはN)		早起き		1	I			
•	着を図る。			69%	70%	70%	70%			
				朝食 88%	朝食 86%	朝食 87%	朝食 87%			
<i>l</i> ⇒	①新職昌にトスポ光	①月1回の服務研修の確実な実施と過去の事例と防止策	・不適切事案の発生数		0件	0件	0件		† .	
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			「一つ。四ツず未り先生数	017	017	017	0.11			
信頼される	事を0(ゼロ)にする。	を研修内容として取り入れる。					1			
							1			
れ	②業務改善を進める。	②会議は内容を確認し、必ず始まりの時刻と終了の時刻	・時間外での会議の回数	0回	0回	0回	0回			
る	○\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・							
		を設定して行う。					1			
と なる。							1			
など	③保護者が相談しや	③定期的な「便り」の発行や HP の更新を行い、取組状況	• 学校満足度	95%	90%以上	90%以上	90%以上			
1 3 \	すい環境をつくり、	や児童の状況を発信する。	「情報提供]	00,0	00,00,1	00,00,1	00,00,00			
° 70										
<	学校満足度を向上さ		教育活動				1			
す	せる。		١ ' ا				1			
くする」							1			
<u>ا</u> ي	(1) 14 4 W 14 11 = .		ж шым.	V 277 -	V 777 -	V 277 -	V 777 P			
		④各学年で、地域・保護者連携を行い、地域や学校外の人	・活用回数	全学年	全学年	全学年	全学年			
学 校	材を活用した授業を	材を活用した授業を行う。		42 回	18 回以上	18 回以上	18 回以上			
1 MY			i .	1		1	1	1	1	
~	設定する。									